



# 自然観察

No.106  
2013.6月

## 目次

- ・2013年度総会終わる . . . . . 2
- ・「第24回滝野の自然に親しむ集い」参加のお願い . . . . . 3
- ・会計からのお知らせ! . . . . . 3
- ・2012年度NOC会計決算報告 . . . . . 4
- ・2013年度会計予算 . . . . . 5
- ・総会講演「ワシタカ類観察のすすめ」 . . . . . 6
- ・蝶の採集と保護(4) . . . . . 9
- ・2012年度観察会実施状況報告 . . . . . 11
- ・フィールドニュース . . . . . 12
- ・ウォッチングレポート . . . . . 12
- ・ウォッチングプラン . . . . . 15
- ・事務局だより・連絡先 . . . . . 16



天然記念物のクマガラ「子育て真最中」(野幌森林公園 H24.6 撮影)

# 2013 度 総 会 終 わ る

2013 年度北海道自然観察協議会総会は、4 月 14 日(日)に札幌エルプラザで開催されました。総会では、2012 年度の事業報告並びに決算報告等が了承されるとともに、新年度の 2013 年度事業計画案並びに予算案の決定がそれぞれ行われました。

総会終了後、自然ウォッチングセンター代表の島田 明英氏による「クマタカ類の観察のすすめ」と題した報告が行われました。

2012 年度事業報告及び 2013 年度事業計画については、前号の 105 号にそれぞれ掲載しましたが、以下の部分は総会で修正提案の上、了承されましたので掲載いたします。他の部分は 105 号に掲載された内容と変わりありません。

なお、年度末で確定した 2012 年度決算報告、監査報告、2013 年度予算も合わせて掲載します。

## 《第 1 号議案 2012 年度事業報告関係》

### 1. 観察会の実施状況

#### 《一般観察会について》

2012 年度の観察会は、滝野の集いを除き、53 開催が予定され、3 開催の中止を除き現在(3/31)まで 50 開催が無事終了しました。

このうち報告書未着および報告書不備の 8 開催を除く 42 開催について集計しましたので概要を報告します。

一般参加者 延べ 650 人(うち年代記載者 640 人)

参加指導員数 延べ 163 人

年代別参加者数では年代記載者 640 名中 60 代が 303 名と、およそ半数を占めています。以下 70 代 120 名、50 代 114 名となっています。

各観察会の実施状況はその都度、会報に掲載しています。

### 4. 組織の状況

3 月末現在で会員数 314 名

### 5. 理事会・部会・委員会

(事務局動向)

環境道民会議総会出席(4/25)

### 6. 他機関との連携、交流

#### (1) 講師派遣

・NTT 環境保護自然観察レク：8/5

滝野すずらん丘陵公園 講師 2 名

・第 36 回江別市私立幼稚園連合会教諭研修会：7/24 野幌森林公園 講師 6 名

・川の博物館(植物担当) 8・9 月

講師 2 名

#### (2) 共催・後援

・端野町歴史民族資料館・たんのカタクリと森の会共催：5/5～7

・札幌市教育委員会後援：「滝野の自然に親しむ集い」8/11～12

#### (3) 参加

・「北海道フラワーソン 2012」札幌地区参加

## 《第 3 号議案 2013 年度事業計画関係》

### 1. 観察会の開催について

(1) 今年度の観察会実施計画は別表「2013 年度自然観察会予定表」(配布済み)の通りです。

今回掲載以外にも企画があれば観察部山形へご連絡下さい。できる限りバックアップしたいと思います。

(2) 各観察会連絡担当者の方は、観察会一般参加者名簿、指導員用名簿及び 13 年度観察会予定表など、観察会で使う用紙の必要枚数を観察部山形までご連絡ください。

(3) 観察会の報告書は観察部山形へ、保険料など現金は観察部会計小川へ送付ください。振り込みを利用する方は、会計(小川)へ申し出て下さい。印字済みの振込用紙をお渡しします。

口座番号：2770-9-34461 (通常払込加入者負担の用紙)

加入者名：北海道自然観察協議会観察保険料

(4) 観察会の予定及び実施状況は、会報及び北海道自然保護協会の HP でお知らせします。

<http://www.jade.dti.ne.jp/~nchokkai/kansatsu.html>

(5) 各観察会で作成・使用した資料を収集しています。会員が閲覧利用できる仕組みを検討中です。観察会報告書に同封するなどご協力下さい。

(6) 観察会の下見会を、会員同士の交流と研修の場として活用して下さい。

(7) 団体などから観察会の要請があれば、事務局が窓口となり一括して指導員派遣の要請を受けていきます。

(8) 「第 24 回 滝野の自然に親しむ集い」は、

滝野実行委員会（委員長・事務局・編集部・観察部・研修部各1名選出）と補佐で組織して実施する予定です。

(9) 観察部では備品の充実をはかって行きたいと考えています。また現在保管している備品に関しても有効な利用法を検討して行きたいと考えています。

(10) 共催で協議会の保険を使う場合は、参加者名簿と一人当たり 50 円の保険料を協議会へ送ってください。ただし、1泊2日以上は該

当しません。

#### 4. 指導員研修について

##### 2) 地方研修会

①旭川市 日時10/19(土) (宿泊者は19・20日)、場所突硝山の予定 テーマは未定

##### ③フォローアップ研修会

第473回 NACS-J 自然観察指導員講習会修了者等を対象としたフォローアップ研修会を開催する予定。場所・テーマ等は未定

## ♥「第24回滝野の自然に親しむ集い」参加のお願い♥

「滝野の自然に親しむ集い」の日程が下記のようにになりました。

たくさん子ども達やその家族と過ごす2日間です。指導員としてのフォローアップ研修にもなります。多くの指導員の方々のご参加、ご協力をお願いいたします。ご協力いただける方は担当者(池田)へご連絡ください。

**実施日：8/10(土)～8/11(日)**

**実施場所：滝野自然学園**

**指導員参加費：3,700円**

**内容：せせらぎウォッチング・夕食作り・キャンプファイヤー・ナイトハイク・星空ウォッチング・自然観察ハイキング他**

**連絡先：池田 (011-708-6313)**

\*7月1日(月)まで参加される方はお知らせください。ご都合の悪い方は1日参加でも結構です。

- ・事前の下見を実施します。1回目は7/13(土)・2回目は8/3(土)
- ・昼食、凶鑑、双眼鏡、ルーペ(あれば)準備 小雨決行。相乗りで現地(学園)に入り、下見と打合せ。
- ・下見集合場所：地下鉄南北線自衛隊駅裏口(車で札幌方向から平岸通りを真駒内方面に行き、「マックスバリュ澄川店」前信号を左折、地下鉄シェルターに沿って50メートル。)
- ・集合：12:30、解散：16:30 解散予定

## 会計からのお知らせ!

会計を務められていた理事の畑中嘉輔さんが2月にご逝去されました。

ご冥福をお祈りいたします。

替わって理事の三澤 英一が会計担当になりました。

なお口座番号に変更はありません。



## 2012年度 NOC会計決算報告

### 収入の部

単位(円)

| 項目      | 予算額       | 決算額       | 増減      | 備 考            |
|---------|-----------|-----------|---------|----------------|
| 前年度繰越   | 656,816   | 656,816   | 0       |                |
| 会費      | 420,000   | 382,500   | -37,500 | 年会費(会員 248 名分) |
| 雑収入     | 200       | 6,135     | 5,935   | 利子、全道研修基金      |
| 積立金取り崩し | 0         | 0         | 0       |                |
| 観察会参加料  | 50,000    | 0         | 0       | 観察会参加料(保険、資料代) |
| 合 計     | 1,127,016 | 1,045,451 | -31,565 |                |

### 支出の部

単位(円)

| 項目       | 予算額       | 決算額     | 増減       | 備 考                 |
|----------|-----------|---------|----------|---------------------|
| 事務費      |           |         |          |                     |
| 通信費      | 180,000   | 1,200   | -16,800  | 切手代、はがき、郵送料         |
| 消耗品費     | 30,000    | 1,710   | 28,790   | 用紙、印刷代、コピー代         |
| 会議費      | 50,000    | 13,825  | -36,175  | 理事会会場費              |
| <小計>     | 260,000   | 16,735  | -243,265 |                     |
| 会報費      |           |         |          |                     |
| 会報郵送費    | 120,000   | 105,715 | -14,285  | クロネコヤマト便(会報3回、名簿発送) |
| 印刷代      | 200,000   | 216,010 | 16,010   | 会報印刷代(会報3回)         |
| ラベル代     | 5,000     | 7,840   | 2,840    | 会報送付用ラベル            |
| 封筒印刷代    | 25,000    | 0       | 25,000   | 会報送付用封筒             |
| 原稿謝礼代    | 5,000     | 0       | -5,000   |                     |
| 通信費      | 12,000    | 2,080   | -9,920   | 編集関係通信費             |
| 消耗品費     | 3,000     | 578     | -2,422   | セロテープ、用紙            |
| <小計>     | 370,000   | 332,223 | -37,777  |                     |
| 活動費      |           |         |          |                     |
| 観察会費     | 50,000    | 22,588  | -27,412  | 参加者保険、配付資料、振込手数料    |
| 総会開催費    | 30,000    | 25,640  | -4,360   | 会場使用料、講師謝礼          |
| 全道研修費    | 60,000    | 62,600  | 2,600    | 会場使用料、講師謝礼、資料代      |
| 地方研修費    | 40,000    | 0       | -40,000  | 会場使用料、講師謝礼、資料代      |
| 指導員講習会助成 | 0         | 0       | 0        |                     |
| 救急救命講習会  | 15,000    | 8,210   | -7,790   | 会場使用料               |
| 用品費      | 20,000    | 0       | -20,000  |                     |
| 雑費       | 15,000    | 6,120   | -8,880   | 高山植樹保護ネットワーク        |
| <小計>     | 231,000   | 125,158 | -105,842 |                     |
| 30周年積立   | 30,000    | 30,000  | 0        |                     |
| 予備費      | 241,016   | 10,290  | -230,726 | 会計用印鑑               |
| 合 計      | 1,127,016 | 528,506 | -598,510 |                     |

### 収支残高

総収入 1,045,451 - 総支出 528,506 - 次年度繰越 516,945

### 30周年特別会計

2011年度繰越金 400,000円  
 2012年度積立金 30,000円  
 2013年度へ繰越 430,000円

2013年4月14日

上記のとおり決算報告します。

会計担当 横山武彦 小川祐美

2013年4月14日

上記に関する監査を実施し、適正であることを認めます。

監事 佐藤佑一 鈴木克司

## 2013年度 会計予算

### 収入の部

単位 (円)

| 項目     | 決算額       | 予算額       | 増減      | 摘要               |
|--------|-----------|-----------|---------|------------------|
| 前年度繰越  | 656,816   | 516,945   | -13,987 |                  |
| 会費     | 382,500   | 400,000   | 17,500  | 会員 311名          |
| 雑収入    | 6,135     | 1,000     | -5,135  | 利子               |
| 積立金取崩し | 0         | 350,000   | 350,000 |                  |
| 観察会参加料 | 0         | 50,000    | 50,000  | 観察会参加費 (保険料・資料代) |
| 合計     | 1,045,451 | 1,317,945 | 272,494 |                  |

### 支出の部

単位 (円)

| 項目       | 決算額       | 予算額       | 増減      | 摘要               |
|----------|-----------|-----------|---------|------------------|
| 事務費      |           |           |         |                  |
| 通信費      | 1,200     | 10,000    | 8,800   | 郵送費 ホームページ管理     |
| 消耗品費     | 1,710     | 30,000    | 28,290  | 印刷用紙代 印刷代 コピー代   |
| 会議費      | 13,825    | 50,000    | 36,175  | 理事会・部会会場費        |
| 小計       | 16,735    | 90,000    | 73,265  |                  |
| 報費       |           |           |         |                  |
| 会報郵送費    | 105,715   | 150,000   | 44,285  | 会報4回発行(クロネコメール便) |
| 印刷代      | 216,010   | 250,000   | 33,990  | 印刷所へ支払い          |
| ラベル代     | 7,840     | 10,000    | 2,160   | 会報発送用ラベル         |
| 封筒印刷代    | 0         | 25,000    | 25,000  | 角2封筒印刷           |
| 原稿謝礼代    | 0         | 5,000     | 5,000   |                  |
| 通信費      | 2,080     | 12,000    | 9,920   | 編集部関係の通信費        |
| 消耗品費     | 578       | 3,000     | 2,422   | セロテープ 用紙         |
| 小計       | 332,223   | 455,000   | 122,777 |                  |
| 活動費      |           |           |         |                  |
| 観察会費     | 22,588    | 50,000    | 27,412  | 参加者保険 配布資料 振込手数料 |
| 総会開催費    | 25,640    | 30,000    | 4,360   | 会場使用料 講師謝礼       |
| 全道研修費    | 60,000    | 60,000    | 0       | 講師謝礼 会場使用料 資料代   |
| 地方研修費    | 0         | 40,000    | 40,000  | 講師謝礼 会場使用料 資料代   |
| 指導員講習会助成 | 0         | 350,000   | 350,000 |                  |
| 救命救急講習会  | 8,210     | 16,000    | 7,790   | 講師派遣費 講師駐車代      |
| 用具費      | 0         | 10,000    | 10,000  |                  |
| 雑費       | 6,120     | 15,000    | 8,880   |                  |
| 小計       | 125,158   | 571,000   | 445,842 |                  |
| 30周年積立   | 30,000    | 30,000    | 0       |                  |
| 予備費      | 10,290    | 171,945   | 161,655 |                  |
| 合計       | 1,127,016 | 1,317,945 | 190,929 |                  |

### 収支残高

総収入 1,317,945 円 - 総支出 1,317,945 円 =0

### 30周年特別会計

|           |           |
|-----------|-----------|
| 2012年度繰越  | 430,000円  |
| 指導員講習会へ助成 | -350,000円 |
| 2013年度積立金 | 30,000円   |
| 2014年度へ繰越 | 110,000円  |

## はじめに

他の動物を捕食する猛禽類は、生態系の最上位に位置します。そのため本来的に個体数が少なく、生息のためには広大で多様な環境を必要とします。環境変化などの影響を受けやすく、多くの種で減少が懸念されています。このことから、環境の指標（アンブレラ種）として、注目されることが多い種類です。

しかし、実際に観察しようとしても観察する機会は少なく、生息の実態を知ることは簡単ではありません。今回はワシタカ類、中でも森林性のワシタカ類を中心に観察のコツを紹介し、一例としてハチクマの生活について触れたいと思います。

## ワシタカ類の分類

昨年、「日本鳥類目録」の新版が発行され、日本産の鳥類全般について大きく分類体系が変わりました。

ワシタカ類は、以前はすべてタカ目に分類され、タカ科（オジロワシ、トビ、オオタカなど）とハヤブサ科（ハヤブサ、チョウゲンボウの仲間）に分けられていました。それが、最新のDNA等による研究を反映して、ハヤブサの仲間がハヤブサ目として独立しました。ハヤブサ目は、他のタカ類とは類縁関係が遠く、インコやスズメの仲間に近い位置におかれました。

これは、収斂進化（もともとは類縁関係が遠い生物が、同じ生態的地位にいたために形態が似てしまうこと）の好例となりそうです。

ここでは従来通り、タカ目とハヤブサ目をあわせてワシタカ類としておきます。

## 下から見上げる

ワシタカ類の観察を始める前は、ワシタカ類は高いところを飛んでいる、という漠然としたイメージを持っていました。しかし高い尾根や峠で観察してもあまり見つかりません。

次の2枚の写真はオジロワシです(写真1)。空をバックに飛んでいるものは、すぐ見つかります。しかし下の写真のように森や山の斜面をバックに飛んでいるのをみつけるのは至難の業です。

ワシタカ類といっても、数百mもの高空を飛んでいることは少なく、尾根上などの高いところにいて観察すると、大抵下の写真のように森や山肌がバックになり、大変見つけづらいこととなります。



写真1 背景によって見つけやすさが違う

ワシタカ類を見つけるには、谷底や山すその平野部など低いところから、山を見上げる形での観察がベストです。

ワシタカ類が多く見つかるのは、尾根と空との境目（スカイライン）付近です(写真2)。このあたりを中心に観察すると、見つけられる確率が高まります。



写真2 下からスカイラインを見上げて観察

## 身近にいるワシタカ類

「高いところを飛ぶ」と同時に、私のもう一つの思い違いは、希少なワシタカ類は山奥にいるだろう、というものでした。しかし実際には

森林性のワシタカ類は、山奥や高山には少ないのです。

繁殖期に、どのような環境にワシタカ類が生息するか、イメージ(図1)を描いてみました。

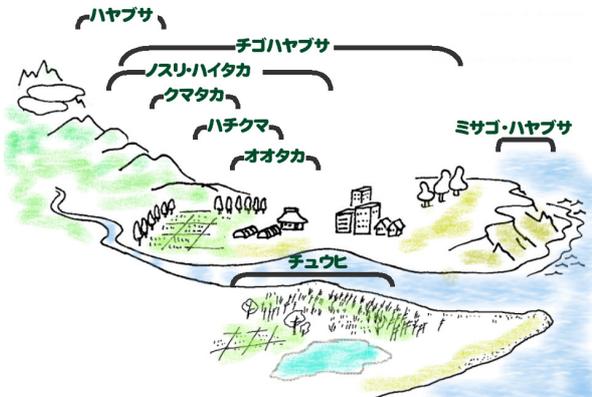


図1 繁殖期におけるワシタカ類の生息地

オオタカは平野部の農耕地が主要な繁殖地です。ハチクマは農耕地から低山にかけて多く見られます。クマタカはそれより少し山に入ったあたりで繁殖します。ノスリ、ハイタカ、チゴハヤブサなどは平野部から山地まで、広い範囲で見られます。

特殊なものでは、ミサゴは海岸や大きな湖など餌である魚の捕れる場所に、ハヤブサは営巣に適した崖地のある海岸や山地に、チュウヒは湿原や河川湖沼沿いの草地に生息します。

多くの種類が見られるのは山麓部から低山にかけての地域ということになります。

以前、数人のグループで豊平川沿いのクマタカ繁殖地を調査したことがあります。南区真駒内から定山溪の区間で3カ所の繁殖地を確認できたのに対し、定山溪より奥では繁殖地は確認できませんでした。山奥に入ると道路がなくて近づけないなど観察条件が悪いということもありますが、思ったよりも市街地寄りの地域で繁殖していることに驚きました。

## 行動を見る

ワシタカ類を見つけられる機会はそう多くないので、見つけたらその種類だけでなくできるだけ多くの情報を得ておきたいものです。

できればその個体が成鳥か幼鳥か、雄か雌かを判別し、さらにどんな行動をしていたかも記録しておきましょう。

例えば木にとまっているのを見つけた時です。野鳥が木にとまるのはごく普通のことですが、ワシタカ類が木にとまるのには重要な意味があることが多いのです。

ノスリやオオタカが畑の中にポツンと立つ木にとまっていたら、餌を探しているかもしれません。その場所が重要な採餌場である可能性が

あります。

クマタカが林縁の枝にとまっていたら、その近くに繁殖地があるかもしれません。クマタカは通常人目につく場所にはとまりません。目立つ場所にあえてとまっているのは、繁殖地に近づく外敵を見張ったり、他のクマタカに対するディスプレイ(誇示行動)の可能性にあります。

ワシタカ類の行動として、最も派手なのは繁殖期のディスプレイ・フライトでしょう。

「波状飛行」は、多くの種で見られます。急上昇と急降下を繰り返し、波を描くように飛行するもので、雌に対する求愛やテリトリーを示すディスプレイと考えられます。

ハチクマの波状飛行は中でも独特で、急上昇した頂点で、背中で両翼を数回打ち合わせます。このディスプレイが見られれば、どんなに遠くでもハチクマであるとわかります(図2)。

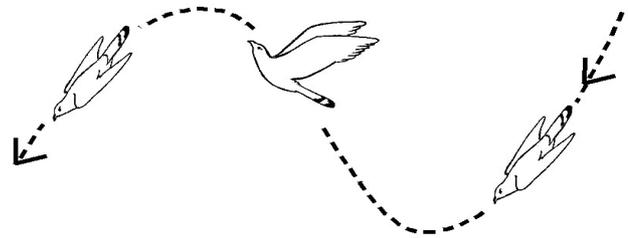


図2 ハチクマの波状飛行

雌雄二羽で並んで飛行する、ペアフライトと呼ばれる行動も繁殖にかかわるディスプレイです。ペアフライトの状態から、一羽が上空から襲いかかるような行動を見せる疑似攻撃に移り、さらにエスカレートすると空中でのつかみ合いなどが見られ、一見すると戦っているように見えますが、これらも繁殖にかかわる雌雄のディスプレイとして行われます。

この他にも、餌運びは繁殖地を知る手がかりですし、他個体や他のワシタカ類に対する攻撃(排除行動)は縄張りを示すものです。

このような行動の観察を、できれば個体識別をした上で積み重ねてゆくと、そこに生息するワシタカ類の生息状況がだんだんと明らかになってきます。

## ハチクマについて

森林性ワシタカ類の一例として、ハチクマの暮らしをご紹介します。

ハチクマはトビくらいの大きさで、真っ黒に近いものから、白っぽいものまで様々なタイプがいる点で特徴的なタカです。

北海道には夏鳥として渡ってきます。道央、道南の日本海側に多く、道東では稀に見られる程度です。道北では留萌周辺や天塩川沿いで珍しくないようです。全般に海岸に近い地域でよく見られる印象を持っています。札幌市内でも、北の沢、石山、藤野といった市街地に近い場所

で観察されます。

北海道に渡来するのは5月下旬。渡ってきてすぐ、前述のようなディスプレイフライトを盛んに行いますので、よく目立ちます。

6月上・中旬に産卵。営巣地は平野部に近い低山の山腹が多いようです。

抱卵にはいると、雌はほとんど出てこなくなり、雄も観察する機会が減ります。しかし雄は時々ディスプレイフライトをしますので、森林性のワシタカ類の中では比較的目につきやすい方です。

ハチクマはその名の通りスズメバチなどのハチ類を主な餌にしており、ハチの巣を掘り出してその中の幼虫やサナギを食べます。

しかし繁殖初期はまだハチの巣が大きくなっておらず、十分に確保できないようで、ヘビなどを運んでいるのが観察されます。

7月後半になるとヒナが大きくなり、たくさん餌が必要となります。ハチの巣を運ぶ姿がよく見られるようになります(写真3)。



写真 3 餌を運ぶハチク

幼鳥が営巣林から出て飛び始めるのは8月末から9月はじめ。この前後は鳴き声がよく聞かれるようになります。巣立ちを促すために親が鳴いたり、親を呼んでヒナが鳴いたりするようです。

幼鳥が飛べるようになると、親鳥の後をついて営巣地付近を飛び回る姿が見られますが、1週間程度でいなくなります。

室蘭の測量山などでワシタカ類の渡りを見てみると、ハチクマの渡りの最盛期は9月20日頃です。幼鳥は飛べるようになってまもなく、

南への渡りをはじめることになります。

電波発信機をハチクマにつけることで、その渡りの様子がわかってきています。昨年青森県で発信機をつけた4羽のハチクマの渡りの様子が、インターネットで公開されています(「ハチクマ渡り公開プロジェクト」で検索)。本州を南下したハチクマは、九州から中国の上海付近に渡り、マレー半島を南下、インドネシア東部の島で越冬しました。

ハチクマは秋と春で渡りの経路が違い、秋は九州から直接中国へ渡り、海岸沿いを南下しますが、春は中国内陸部を北上し、朝鮮半島を経由して日本に戻ってきます。

また、ハチクマを観察していると生後2年目などの若い個体が見られないことに気づきます。前年生まれの子鳥は、越冬地でそのまま夏を越すのではないかとわれています。

### 観察上の注意

森林性のワシタカ類は、忍耐強く観察しないとその生息状況はわかりづらい種類です。そのため、重要な地域でも生息に気づかれずまま開発されてしまうことが考えられます。そのようなことを防ぐためには、多くの方が関心を持って見守ることが必要です。

ただし、営巣地の観察については十分な注意を払う必要があります。ワシタカ類は、特に繁殖期には非常に神経質で、人間などの外敵が近づいただけで営巣を放棄してしまうことがあります。

もしワシタカ類が巣作りしていることに気づいても、巣に近づくことはタブーです。営巣している林に立ち入ったり、近くで長時間観察することも避けるべきです。

北海道で繁殖するワシタカ類14種のうち、9種がレッドリスト記載種です。これ以上数を減らさないためには、見守る眼を増やす必要を感じています。魅力的なワシタカ類の観察に、ぜひチャレンジしてみてください。

### 編集部からのお願い

皆様からの投稿をお待ちしています。自然観察をしていて感じていること、発見したこと、また自然保護のあり方など「自然」をテーマにした随筆、提言など編集部まで、送ってください。ワープロはもちろん、手書きでもかまいません。写真などもあったらさらに結構です。どうぞ宜しくお願いします。

(編集部長)

## 蝶の採集と保護 (4)

昆虫ボランティア・元道立高校職員 青山慎一

チョウ類の衰亡の要因については、すでに科学的に検証された定説があり、(1) 生息環境の破壊と変化(2) 化学物質による汚染(3) 外来種の侵入(4) 商業目的の採集(New and Collins, 1991)となっている。

このうち(1)に相当する森林の伐採や農地への転換、都市化、工業地帯化、リゾート開発などの直接的な破壊が最も深刻な影響を与えるものであり、しかも最も阻止することが難しいとされる。

ヨーロッパでは農業環境の改良が、絶滅の恐れのあるチョウの90%に影響を与えており、殺虫剤や除草剤等による化学物質による汚染が同じく83%と算出されている。(Swaay and Warren, 1999)

ところで生物多様性の保全を脅かすこうした破壊や汚染を加速させているエネルギーは、言うまでもなくヒトという生物が持つ「より便利で、より快適な生活」を求める飽くなき欲求である。私たちは破壊や汚染の当事者でなくても、間違いなく加担者の一人であることを肝に銘じておかなければならない。

一方、環境行政はこのような事態にどのように対応しているのであろうか。ご承知の通り、国際間では様々な条約や共同宣言がなされており、国内でも各省庁や市町村による法令や条例は、その全てを書き出すことが困難なほど数多く定められている。

それにもかかわらず身近なところで昆虫類が衰退している現状を見ると、こうした取り組みが功を奏しているとは思えない。私は以前に北海道の環境アセス条例改定の検討委員やレッドデータブックに関わる希少種選定委員などの委嘱を受けて、北海道の環境行政に参画したことがあり、行政の対応には自ずから限界があることを実感している。

私の知る限りでは、北海道独自の取り

組みはほとんどなく、その大部分は国からの課題への対応で、有識者への諮問・調査活動・報告書の作成、必要に応じて保護区や保護種を制定するといったパターンになっている。私見になるが、こうした対応はチョウや自然に対するものと言うよりは議会や市民に対する免罪符のように思えて、何か空しい。

それでも私たち愛好家は、違法な採集を最も恥ずべき行為と考えているから

「入らせない、採らせない」という施策にもそれなりの効果はあるのだろう。

では採らせないことによって本当に保護をすることが出来ているのだろうか。

「東洋のガラパゴス」と呼ばれる小笠原諸島では動植物に独自の進化が見られ、チョウではオガサワラシジミ、オガサワラセセリという2種の固有種(世界中でここにしかいない)が分布している。小笠原は特別保護区として枯葉一枚持ち出せないほど厳重に監視されており、島であることからそれは見事に徹底されている。ところが今、この2種は絶滅の危機に瀕している。原因は野性化したグリーン・アノールという樹上性のトカゲによる食害である。もともと繁殖力の強いこのトカゲは天敵がいないこともあって爆発的に増殖し、読売新聞の報道によれば、推定生息数は母島だけでも百万匹とも二百万匹とも言われる。

「最近セミの声が聞こえなくなった」という島民からの訴えにより、東京都は2010年、日本鱗翅学会の岸田泰則会長らに調査を依頼した。私が岸田氏から直接伺った話では、激減したのはセミやこれらとチョウだけではなく、トンボ、バッタ、ハチ、ハエなどおよそトカゲの餌になるもの全てに及んでいた。もちろんこれら雑虫の中にも多くの固有種が含まれているのである。

調査隊はおよそ1週間の探索で、よう

やくオガサワラシジミ 1♀を捕獲し、多摩昆虫館へ持ち帰って採卵・飼育を行い70頭ほどの成虫を島に戻した。

もちろんそのまま放したのではトカゲに餌を与えるだけであるから、トカゲが侵入できない特別な施設を作ったのだという。北海道には日高山脈高地の一部に生息するヒメチャマダラセセリという天然記念物のチョウがいる。このチョウの発見者の一人である昆虫写真家の渡辺康之氏は、許可を得て毎年のようにこのチョウの調査を行っており、その成果を2010年東大で開催された日本鱗翅学会で発表した。それによると最初に発見されたアポイ岳の生息地では植生の変化により完全に姿を消しているという。

原因として登山道の整備によって成長したハイマツが地表を覆い、登山者が運んだと思われる平地の雑草も繁茂していて、もはやヒメチャマダラセセリが繁殖できる環境でなくなったためと結論付けている。幸いにこの場合は、その場から消えたというだけで、おそらくは彼らの好むガレ場に発生地を替えた可能性が高い。

お判りと思うが、これらの事例は「入らせない、採らせない」だけで安心するのは間違いで、その後どのようなになっているのかというフォローが無ければ、場合によっては逆効果を生むということを示している。

海外を含め昨今の環境政策は、規模の大きい天然林とか湿地とか干潟とかを聖域化して「護るべき所はしっかり護る」という方向に進んでいるようだ。

裏を返せば「それ以外の所は関知しない」ということになりその結果、里山や草地の昆虫類が置き去りにされている。

ヒメシロチョウという目立たない小型のチョウは、北海道の西部に産地が点在していたが、この10数年採集されたという記録がない。食草のツルフジバカマが田畑周辺では農薬で汚染され、路傍のものは定期的に刈り取られてしまうことが原因と考えられている。

北海道の特産種であるアカマダラという小型のタテハチョウも、石狩及び空知

管内から姿を見せなくなってから久しい。主な食草のエゾイラクサであるが、原因はまだ解明されていない。



#### アカマダラ 春型♀

1986年5月30日野幌森林公園

これは私が札幌市周辺で見かけた最後の個体である。

またかつてはイシダシジミという別名で呼ばれていたアサマシジミの北海道亜種も千歳の個体群は空港の拡張によって絶滅した。道東の産地では食草のナンテンハギがエゾシカによって食べ尽され絶滅の危機にさらされている。

このようなことは一般の人にはほとんど知られてはいないし、オオムラサキやヒメギフチョウの保護を叫ぶ人たちにさえ一顧にされない。

どれもこれも美しいチョウではないからだ。

さて次回はチョウの保護のあり方について、絶滅危惧種の復活に成功した具体的な事例と、いま私が取り組んでいることについて述べ、締めくくりとしたい。



## 2012 年度観察会実施状況報告

2012 年度観察会は、滝野の集いを除き 53 開催が予定され、悪天候などによる中止 3 開催と報告書不備および未着の 8 開催を除く 42 開催について集計しました。

年代別集計は、総参加者 650 名中、年代記載者 640 名について行いました。

過去 5 年間の年代別参加者数（表 1 参照）

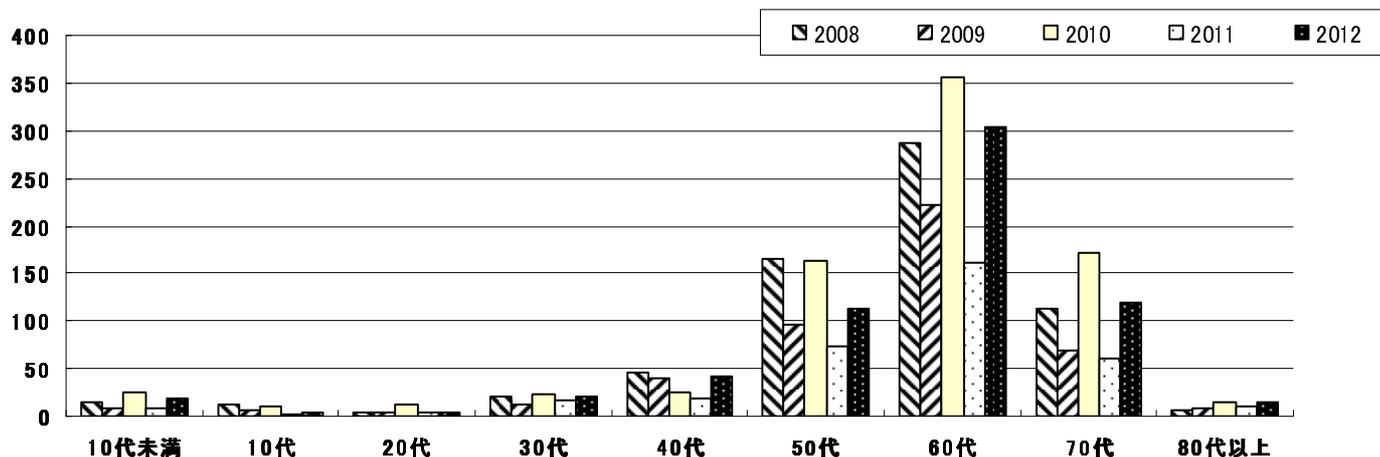


表 1 08～12 年度年代別参加者数

表 4 12 年度年代別性別分析

|       | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 |
|-------|------|------|------|------|------|
| 10代未満 | 14   | 9    | 26   | 9    | 18   |
| 10代   | 12   | 7    | 10   | 3    | 4    |
| 20代   | 5    | 4    | 13   | 4    | 4    |
| 30代   | 21   | 12   | 22   | 16   | 21   |
| 40代   | 47   | 39   | 26   | 18   | 42   |
| 50代   | 165  | 97   | 164  | 73   | 114  |
| 60代   | 286  | 223  | 356  | 162  | 303  |
| 70代   | 114  | 70   | 172  | 61   | 120  |
| 80代以上 | 7    | 8    | 15   | 10   | 14   |
| 計     | 671  | 469  | 804  | 356  | 640  |

| 年代     | 人数  | %    |
|--------|-----|------|
| 10代未満男 | 12  | 1.9  |
| 10代未満女 | 6   | 1.0  |
| 10代男   | 1   | 0.0  |
| 10代女   | 3   | 0.5  |
| 20代男   | 1   | 0.0  |
| 20代女   | 3   | 0.5  |
| 30代男   | 7   | 1.1  |
| 30代女   | 14  | 2.0  |
| 40代男   | 15  | 2.1  |
| 40代女   | 27  | 4.0  |
| 50代男   | 30  | 5.0  |
| 50代女   | 84  | 13.0 |
| 60代男   | 93  | 14.5 |
| 60代女   | 210 | 33.0 |
| 70代男   | 43  | 7.0  |
| 70代女   | 77  | 12.0 |
| 80代以上男 | 8   | 1.1  |
| 80代以上女 | 6   | 1.0  |
| 計      | 1.9 | 99.7 |

表 2 12 年度参加者男女の割合

|   |     |       |
|---|-----|-------|
| 男 | 217 | 33.4% |
| 女 | 433 | 66.6% |
| 計 | 650 | 100%  |

表 3 一般参加者数と参加指導員数

| 開催年度     | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 |
|----------|------|------|------|------|------|
| 開催回数(回)  | 54   | 48   | 47   | 52   | 50   |
| 一般参加者(人) | 709  | 608  | 825  | 427  | 650  |
| 指導員(人)   | 241  | 183  | 181  | 148  | 163  |

## 空知(滝川周辺)のフィールドニュース

滝川市 瀬川正則

残雪の多かった4月7日、久しぶりにフィールド散策をしてきました。

北空知の深川にある沖里河山(802m)に上ってみました(つぼ足で登り、下りはスキー滑降♪?)。

シーズンオフということもあり、スノーモービルに追われることもなく、のんびり春の陽光の中を「ヤマゲラ」のピョピョピョと春特有の高く澄んだ尻下がりの美声を聞きながらの道中でした。

そして山頂からは360度眺望が良く、特に石狩平野を雄大に蛇行する石狩川がよく見えました。

さて下山スキーに履き替えて、「それ!石狩平野に向かって豪快に!でもなく安全確実に下山、下り終わったところで振り返って山に向かって一礼、山の神様に感謝し、改めてこの地域の素晴らしさを認識しました。

さて私個人的にですが、滝川では地域的にちょっと珍しい発見がここ数年ありました。まず、市内の公園には明治時代の屯田兵が植えたのではないかとされている

「ブナ」の木が2本あります。また、内地では高級建材として有名な「ケヤキ」の大木もあります。いつの時代に植えられたのか判りませんが、結構な太さになっております。

ともに、あのさらっとした樹皮と壮大な樹冠の感じが魅力的です。

そして野鳥では、旅の途中でぶらりと寄ったのか「タゲリ」2羽を発見、初めて聞くミューミューと猫のような鳴き声に感動、立ち姿では独特の冠羽と羽の綺麗さにびっくりしました。

さらに石狩川沿いでは、元来、北海道には生息しない「アズマヒキガエル」に遭遇、その巨大さと愛嬌顔に感動しました。外来種として色々と問題視されていますが、彼らも困っているみたいですね。

以上、空知(滝川周辺)のフィールドニュースでした。

北帰行の白鳥の声を聞きつつ  
4月吉日

## ウオッチングレポート



## 小樽市 「勝内川」 観察会 2012/10/6

天候 晴れ 掲載紙

## 勝内川を歩く

天気は良かったのですが、三連休の初日となり、一般参加者が少なく、指導員5名との研修会のようにりましたが、鮭の遡上も多く、産卵行動が観察されました。町

中を流れる河川で、海を渡り運河を通り、産卵にすべてをかける鮭たちに感激しました。また、カモ類、キリ、ヤナギ、ヌルデなどの樹木、ハッカ、マンテマ、トマトなども見ることが出来ました。これからも毎年の環境の変化を見守りたいと思います。

広岡賢治

## 札幌市北区 「屯田防風林」 観察会 2012/10/21

天候 曇り 掲載紙

### 秋の紅葉と木の実

#### 冬の使者“雪虫”の観察しよう

夜中は土砂降り、だが朝からは曇り小風と、程よい観察会日和となった。

屯田西公園から東へ約1キロ強の散策。プラタナス、マツ類、ヤチダモ、ナナカマド、シンジュ、シラカバ、ミズナラなどの木本。オオウバユリ、オオバコ、ハナタデ、キンミズヒキ、エゾノギシギシ、ツリフネ

ソウなどの草本。各々特徴ある実や種子の作りと、それらの散布の仕方との関係を考へ、また雪虫とアブラムシの関係、さらに雪虫の単為発生と両性生殖を行う独特の生活史など、自然界の巧妙さを感じさせられた。

今回久しぶりの担当で少しぎこちなかったが、北区観察指導員の諸氏、山田大邦氏の協力も得、意義ある観察会となった。

澤田八郎  
道場 優

## 苫小牧市 「冬の錦大沼」 観察会 2013/2/17

天候 晴れ  
掲載紙 道新・読売・朝日・毎日・民報

### 道具を使って雪中散歩

カンジキをつけ、雪中散歩。樹木の冬芽や動物の足跡探しを楽しんだ。

今年は、例年のない雪の量と寒さによってハンノキ類やカンバ類の雄花の生育が少ないようだ。昨年はハンノキ類の結実が少なく、今年に期待していたが、どうなのでしょう？このような樹木の様子を参加者でワイワイゆっくりと観察。動物の足跡は、

エゾシカ、ユキウサギ、エゾタヌキ、キタキツネなどを観察。極め付きはエゾリスの登場と相成って、かわいらしい動きを、しばらく一同で見つめていた。感激しきりであった。初めてつけたカンジキだったが、中に何回も装着し直しをするなど苦労していたが、それなりに楽しかったようで一安心。

天候に恵まれ、有意義な一日となった。  
佐々木昌治

## 旭川市「突哨山」 観察会 2013/3/23

### 早春の突哨山をスノーシューで歩こう

初めてスノーシューを着用する参加者が約10名。最初の1時間ほどは林相・胸高直径・残ったホオノキの実・カシワとミズナラの葉、エゾリスとキツネの足跡、ツルアジサイ・ヤマブドウ・コクワなどのつる性植物、エゾヤマザクラ・カツラの樹皮などの観察。キツツキ類の採餌木が健康な樹木ではなく、昆虫類などが樹木の中に侵入した結果餌になり穴をあけられることを観察。

観察会後半の林縁では強風にあおられ、昨年と同様、説明もそこそこに切り上げとなりました。コース設定距離は今年の2.6kmより短く1.6kmで物足りなく感じる参加者、後半の荒天で歩くのが嫌になる子など多様でした。天候の悪化と最初のスピードが速すぎたのかも。出発地12:00 帰着予定が30分以上早まりました

柳田和美

## 恵庭市 「恵庭公園」 観察会 2013/5/11

天候 曇りのち雨  
掲載紙 道新・朝日・

### 春の緑につつまれて

恵庭公園の観察会に参加するようになって、こんなに遅い春は初めてです。

下見の時点では、今年はザゼンソウも少なく、公園内は緑の葉より枯葉ばかりが目につく有様でした。でも強風で折れたカツラの赤い雌花の小枝や、去年の袋果をたくさん付けた小枝、リスやネズミの食べ跡の残るクルミやマツの実を見つけました。この時期に見られるはずの花々の資料は用意

していたので、これらのものも使うことにしました。

当日は朝から雨マークが消えません。エゾエンゴサクの青さに救われたものの、例年なら視界一杯の白い花々が申し訳程度です。蕾ばかりのニリンソウはミドリニリンソウの写真を、縮こまったままのネコノメソウは熟した種の写真から、種が雨などの水滴で広がることなどを紹介し、いろいろなやり方があると思ひ至りました。

解散間近、我慢しきれず落ちてきた雨に、追われるように終了した観察会でした。

久瀧雅恵

## 札幌市清田区 「平岡公園」 観察会 2013/5/12

天候 曇り 掲載紙

### 人工湿原の変わる様子を見よう

例年ウメの満開日ですが、今年は開花予想5月8日でしたが、今日現在まったく咲いていません。湿地の花もザゼンソウ、ミズバショウ、ヒメイチゲ、ナニワズ、キタコブシぐらいです。

芽吹きが遅い分、野鳥は良く見えます。カラの類、キクイタダキ、アオジ、センダイムシクイ、ウグイス（今年初の声と姿。5m位先の横枝にみんなで感動。）

ヒナの孵化し始めたアオサギが頻繁に上空を通過し、エゾアカガエルの卵も半分ぐらいが孵っています。

遅い春ですが徐々にスピードアップしてほしいものです。

佐藤佑一

## 札幌市北区 「五ノ戸の森」 観察会 2013/5/12

天候 曇りのち晴れ  
掲載紙

### 春の妖精“スプリングエフェメラル”からエネルギーをもらおう

前日の雨も上がって、まずまずの観察会日和になりました。五ノ戸の森ではアオサギのコロニーがあります。スコープで卵を抱えている巣やヒナがかえっている巣を観てもらいました。

春の訪れが遅かったせいでフクジュソウ、カタクリ、ニリンソウ、エゾエンゴサクな

どのスプリングエフェメラルの可憐な花々があちこちで観られ、皆さん大喜びでした。他にもキバナノアマナ、エンレイソウ、フッキソウ、ナニワズなどが咲いていました。

樹木ではハウノキとトチノキの冬芽の違いや、カツラの紅い芽だし、ネグンドカエデの雄花やエゾノウワミズザクラの花芽が立ち上がっている様子を観察しました。

反省点としては、シラカバの雄花と雌花を観ている時、花粉症だからと列から離れた人がいたので、細かな気配りが必要だと感じました。

横山加奈子



# ウオッチングプラン

|   |  |                           |  |   |   |
|---|--|---------------------------|--|---|---|
| 6月22日(土)  | 奇跡の自然砂浜海岸<br>オタネ浜を歩く                                     | 銭函海岸・オタネ浜<br>新川河口～石狩湾新港   | 新川河口駐車場(駐車スペースは広い)<br>10:00集合～12:00解散<br>帽子・水を忘れずにください   | 手稲山口団地から徒歩<br>JR手稲駅北口から「山口団地」行きバスで10分。<br>そこから新川を左手に見て徒歩30分。<br>車は新川河口に駐車場有り。 | 後藤美智子<br>0134-29-3338                     |
| 6月29日(土)  | 「石狩浜」観察会<br>「初夏の花々と野鳥の観察」<br>～見どころの花 エゾカワラマツバなど～         | 石狩市<br>ハマナスの丘公園           | 石狩市ハマナスの丘公園ビジターセンター<br>10:00集合～12:30解散<br>日陰がありません。帽子を持参のこと。   | 中央バス札幌ターミナル8:30発「石狩」行き乗車<br>終点「石狩」下車 徒歩20分                                    | 後藤みや子<br>0133-74-2293                     |
| 7月7日(日)   | 「夏の錦大沼」観察会<br>葉の形のいろいろ                                   | 苫小牧市<br>錦大沼総合公園           | 錦大沼総合公園駐車場8:50集合・9:00～12:00解散<br>雨天原則決行・強風日中止<br>あれば双眼鏡・ルーペ・図鑑など持参                                     | 自家用車のみ  | 佐々木昌治<br>0144-67-2022                     |
| 7月14日(日)  | 「平岡公園」観察会<br>人工湿原の変わる様子を観よう                              | 札幌市清田区<br>平岡公園            | 平岡公園第一駐車場(厚別中央 通沿い)<br>10:00集合～12:00解散<br>小雨決行   | 地下鉄東西線 大谷地駅発中央バス「大66」ジャスコ<br>平岡店行・平岡5条3丁目下車(前方左の緑地歩道<br>を200m、徒歩5分)           | 佐藤佑一<br>011-881-5336                      |
| 7月14日(日)  | 「夏の円山公園」観察会<br>円山登山                                      | 札幌市中央区<br>円山公園            | 地下鉄東西線円山公園駅 1階バス待合所<br>9:00集合～12:00解散  | 地下鉄東西線円山公園駅下車   | 山形誠一<br>011-551-5481                      |
| 7月21日(日)  | 親子観察会<br>星置川の生きものがさし                                     | 札幌市手稲区<br>星置川             | JRほしみ駅北口前駐車場<br>10:00集合～12:30解散<br>濡れてもいい靴、着替え   | JRほしみ駅下車  | 横山武彦<br>011-387-4960                      |
| 8月10日(土)<br>～11日(日)   | 「第23回滝野の自然に親しむ集い」<br>滝野自然学園親子1泊2日観察会<br>夏休み野外学習(親子・子供特集) | 札幌市南区<br>滝野自然学園           | 申し込み方法、申し込み締切など詳細は未定<br>決まり次第、新聞、広報誌などでお知らせします<br>お問い合わせは「連絡先」の指導員まで                                   | 地下鉄真駒内線より中央バス 滝野公園 行き「アジ<br>リベツの滝」下車徒歩3分                                      | 横山武彦<br>011-387-4960                      |
| 8月18日(日)  | 「屯田防風林」観察会<br>屯田防風林で、外来種<br>アメリカザリガニをさがそう!               | 札幌市北区<br>屯田防風保健保安林        | 屯田西公園グランド駐車場<br>10:00集合～12:30解散<br>濡れてもかまわない服装、帽子。川に入れる靴。<br>(長靴だと水が入ります。長靴以外で濡れても良い靴。)<br>タオル、雨天時は雨具。 | 地下鉄麻布駅発中央バス「03麻生」又は「03屯田6<br>条12丁目行き」、<br>「屯田西公園」停留所下車徒歩2分                    | 池田政明<br>011-708-6313                      |
| 事前申し込みが必要、8月9日(金)締め切り、少4以下保護者同伴、定員20名。申し込み TEL・FAX011-708-6313 池田政明 |  |                           |  |   |   |
| 9月7日(土)   | 「秋の紋別岳」観察会<br>秋の花・樹木                                     | 千歳市<br>支笏湖外輪<br>紋別岳(864m) | 中央バス支笏湖湖畔バス停前<br>9:40集合～15:30解散予定<br>登山靴不要 昼食持参  | JR札幌駅7:50発「エアポート」8:19千歳駅着<br>千歳駅前中央バス8:50発「支笏湖畔行き」支笏湖畔<br>下車 有料駐車場有           | 谷口勇五郎<br>0144-73-8912                     |
| 9月8日(日)   | 「平岡公園」観察会<br>人工湿原の変わる様子を観よう                              | 札幌市清田区<br>平岡公園            | 平岡公園第一駐車場(厚別中央 通沿い)<br>10:00集合～12:00解散<br>小雨決行   | 地下鉄東西線 大谷地駅発中央バス「大66」ジャスコ<br>平岡店行・平岡5条3丁目下車(前方左の緑地歩道<br>を200m、徒歩5分)           | 佐藤佑一<br>011-881-5336                      |
| 9月15日(日)  | もつとつと藻岩山<br>藻岩山散策(旭山記念公園～慈恵会)                            | 札幌市中央区～南区<br>藻岩山          | 旭山記念公園駐車場<br>10:00集合～14:00慈恵会駐車場で解散<br>昼食持参  | 地下鉄東西線 円山公園バスターミナル発、JRバス<br>旭山記念公園行き  | 山形誠一<br>011-551-5481                      |
| 9月15日(日)  | 「野幌森林公園(大沢口)」観察会<br>秋の野幌の森を歩く(子供連れ歓迎)                    | 江別市<br>野幌森林公園 大沢口         | 野幌森林公園大沢口駐車場<br>10:00集合～12:30解散  | JRバス新札幌駅発 循環バス83番、JR森公園駅→<br>徒歩8分国道12号線開拓の村入口バス停→循環バ<br>ス、「文教台南町」下車徒歩10分      | 横山武彦<br>011-387-4960                      |
| 9月15日(日)  | 「秋の錦大沼」観察会<br>今年の実りは?                                    | 苫小牧市<br>錦大沼総合公園           | 錦大沼総合公園駐車場8:50集合9:00～12:00解散<br>雨天原則決行・強風日中止<br>雨具、あれば双眼鏡・ルーペ・図鑑など持参                                   | 自家用車のみ  | 佐々木昌治<br>0144-67-2022                     |
| 9月21日(土)  | 蘭島川周辺<br>農村の風景と古代人の遺跡めぐり                                 | 小樽市蘭島地区<br>里山と国・北海道指定の史跡  | JR蘭島駅<br>9:00集合～12:00忍路ストーンサークル解散  | 小樽発8:07長万部行き、蘭島下車<br>または小樽・余市間バス<br>(約20分おき、約25分で蘭島)                          | 後藤言行<br>0134-29-3338                      |
| 9月28日(日)  | 「突硝山」観察会<br>秋の突硝山をたずねよう                                  | 旭川市・比布町<br>突硝山            | 「突硝山駐車場」(国道40号沿い、旭川から来て<br>「比布トンネル」手前の国道左側)<br>9:30集合～12:00頃解散<br>小雨決行 親子参加も歓迎                         | 「道北バス」旭川駅の乗り場<br>「愛別行き」乗車 「男山公園」下車<br>車はJR旭川駅から25分<br>道央道「旭川北IC」から10分         | 原部 剛<br>080-6092-4347<br>FAX 0166-37-2462 |
| 10月12日(土)   | 中野植物園<br>13万都市、小樽の私設植物園の秋を巡る                             | 小樽市清水町<br>「中野植物園」         | 「中野植物園」<br>9:00集合～12:00解散<br>入園料200円がかかります   | 小樽駅前 8:37発<br>(梅原線・長橋先回り)で約11分<br>「中野植物園前」下車                                  | 広岡賢治<br>0134-25-2722                      |
| 10月13日(日)   | 「秋の円山公園」観察会<br>木の実と紅葉                                    | 札幌市中央区<br>円山公園            | 地下鉄東西線円山公園駅 1階バス待合所<br>10:00集合～12:00解散   | 地下鉄東西線 円山公園駅下車  | 山形誠一<br>011-551-5481                      |
| 10月13日(日)   | 「屯田防風林」観察会<br>秋の紅葉と木の実<br>冬の使者「雪虫」の観察もしよう                | 札幌市北区<br>屯田防風保健保安林        | 屯田西公園グランド駐車場<br>10:00集合～12:00解散<br>雨具、あれば双眼鏡、図鑑など  | 地下鉄麻布駅発中央バス「03麻生」又は「03屯田6<br>条12丁目行き」、<br>「屯田西公園」停留所下車徒歩2分                    | 澤田八郎<br>011-762-7798                      |
| 10月20日(日)   | 「モエレ沼公園」観察会<br>渡り前集結の鳥たち                                 | 札幌市東区<br>モエレ沼公園           | モエレ沼公園 東口駐車場<br>9:40集合～12:00解散 防寒の用意、あれば双眼鏡  | 地下鉄東豊線 環状通東駅 9:10発市営バス「札幌<br>69番」モエレ沼公園入口下車                                   | 須田 節<br>011-752-7217                      |
| 10月26日(土)   | 「長橋なえぼ公園」観察会<br>晩秋の森<br>生き物達の冬ごりの準備を見る                   | 小樽市<br>長橋なえぼ公園            | なえぼ公園「森の自然館」前<br>9:00集合～12:00解散<br>防寒具を用意してください  | 小樽駅前から ⑧オタモイ線、⑨塩谷線、⑩余市線<br>いずれか乗車で約5分<br>「苗圃通り」下車、徒歩1分                        | 後藤言行<br>0134-29-3338                      |
| 10月27日(日)   | 「晩秋のウトナイ湖」<br>ハクチョウ(渡り鳥)の観察と森の散策                         | 苫小牧市<br>ウトナイ湖周辺           | 道の駅「ウトナイ湖」駐車場<br>9:40集合～12:00解散予定  | 新千歳空港9:15発道南バス<br>「苫小牧駅前行き」乗車<br>9:33「ウトナイ湖」下車。無料駐車場有                         | 宮本健市<br>0123-28-4720                      |



☆前事務局長が一身上の都合で退任されました。  
替わりに理事の池田 政明氏が新事務局長に就任されました。  
どうぞ宜しくお願いします。

また、前会計担当者の死去に伴って決まっていなかった新会計担当者は、理事の三澤 英一氏に決まりました。こちらのほうも宜しくお願いします。

会費の振込口座番号は以前の郵便振替口座 02710-1-8768 と変わりませんので、ご承知願います。なお会費振込加入者名は、北海道自然観察協議会 三澤 英一に変更されます。

☆会員の皆様が、日頃の自然観察を通じて感じていること、またトピック的なことなども含めて、是非ご投稿願います。編集部宛に原稿を郵送、Eメール願います。

年4回(6/15、9/15、11/15、3/15)が発行日となりますので、発行日の45日前ほどに原稿を送付願います。)

### ☆【観察会用物品】のご案内

前号の105号で紹介した観察会用物品は、その後数量、保管先が若干、変更になりましたので、改めてお知らせいたします。

観察会に使用したい方は、保管先へそれぞれお申込ください。

| 備品              | 数量  | 保管先                       |
|-----------------|-----|---------------------------|
| 実体顕微鏡ニコンフアーブルミニ | 2台  | 横山武彦 江別市 Tel 011-387-4960 |
| タモ網             | 27本 | 同上                        |
| 大型旗(120×180)    | 1枚  | 同上                        |
| 小型旗(35×43)      | 3枚  | 池田政明 札幌市 Tel 011-708-6313 |
| ポール(折りたたみ式)     | 3本  | 同上                        |
| トリプルバグビューアー     | 5台  | 山形誠一 札幌市 Tel 011-551-5481 |
| ルーペ             | 5個  | 後藤言行 小樽市 Tel 0134-29-3338 |
|                 | 3個  | 山形誠一 札幌市 Tel 011-551-5481 |

## 【連絡先】

北海道自然観察協議会のホームページ <http://www.noc-hokkaido.org/>

会費や寄付は 郵便振替口座 02710-1-8768

会計 三澤 英一 北広島市松葉町5丁目9-16

会費振込加入者名 北海道自然観察協議会 三澤 英一

観察会保険料は 郵便振替口座 02770-9-34461

観察会担当会計 小川 祐美 小樽市望洋台3-13-5

TEL/Fax 0134-51-5216 E-mail [streamy@estate.ocn.ne.jp](mailto:streamy@estate.ocn.ne.jp)

観察会報告書・資料は 観察部 山形 誠一 札幌市中央区双子山1丁目12-14

TEL/Fax 011-551-5481 E-mail [seichi.y@jcom.home.ne.jp](mailto:seichi.y@jcom.home.ne.jp)

退会、住所変更の連絡は 事務局 池田 政明 札幌市北区麻布町4丁目9-16

TEL/Fax 011-708- E-mail [ecology@cocoa.ne.jp](mailto:ecology@cocoa.ne.jp)

事故発生等緊急時はアスカ・リスクマネジメント 担当 本間氏 TEL 011-873-2655

投稿や原稿は 編集部 村元 健治 札幌市手稲区星置2-8-7-30

TEL 011-694-5907 E-mail [cin55400@rio.odn.ne.jp](mailto:cin55400@rio.odn.ne.jp)

表紙写真 森 繁寿



自然観察 2013年6月15日 / 第106号 年4回発行  
(会員の『自然観察』購読料と郵送料は会費に含まれています。)

発行 北海道自然観察協議会